



### 『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』(シリーズ)

廣嶋 玲子/作 jyajya/絵 偕成社

●銭天堂…そこはとっても、不思議な駄菓子屋。例えば、食べると不思議なことが起こる駄菓子、本日の幸運のお宝を持っている人しか来ることが出来ない…など、不思議な駄菓子屋です。他にも、おかっぱの女の子や怪しいおじさん、さらにはかわい黒ネコまで出てきます。ぜひ読んでください!!

### 『都会のトム&ソーヤ』(シリーズ)

はやみね かおる/著 にし けいこ/画 講談社

●この本は、頭脳明晰で竜王グループ後継者の創也と、ただの塾通いに追われるふつうの中学生の内人が、六番目のゲームをつくるために、ゲーム作りにふんとうするお話です。ほかに、学園でふしぎなことが起こったり、「栗井栄太」のゲームに招待されたりして、とてもハチャメチャです。



◆他におすすめされた作品はこちら◆

- 『モナミは世界を終わらせる?』はやみね かおる/著 角川書店
- 『チョコレート・アンダーグラウンド』アレックス・シアラー/著 求龍堂
- 『イグアナくんのおじゃまな毎日』佐藤 多佳子/作 偕成社

ほんぽーと2階ティーンズコーナーでは、  
おすすめの本のイラストを募集しています。



Leaf(リーふ)

No.17

ティーンズブックリスト

令和2年3月発行

〒950-0084 新潟市中央区明石 2-1-10

電話 025-246-7700

[パソコン・スマートフォン用 HP]

<https://www.niigatacitylib.jp>

スマートフォン



★出版社の許諾を得て、表紙画像を掲載しています。

Leaf (リーふ)

ティーンズブックリスト

No.17



## 「ほんぽーと認定子ども司書」 おすすめの本



### 「認定こども」司書とは・・・

- 小学校5・6年生を対象にした「子ども司書講座」を修了した小中学生です。本と利用者をつなぐ活動をしています。
- 認定子ども司書となった12人が、夏休みの活動の一環で、おすすめの本の紹介文を作成しました。

### 『ツナグ』

辻村 深月/著 新潮社

●一生に一度だけ、死んだ人との再会を叶える使者、「ツナグ」。母、憧れの人、親友、恋人。会えないはずのあのひととの再会は感動を巻き起こす…とは限らない!ぬぐい取れない後悔があることを私はこの本から学んだ。でも、使者自身の物語は、「あつ」と驚き、心が熱くなること間違いなし!ぜひ、読んでください。



### 『みかづき』

森 絵都/著 集英社

●この本は塾を経営する夫婦や無料の補講教室を開こうとする青年の話である。だが、この本の魅力はストーリーだけではない。この本の登場人物は、一人一人が自分の考えをもっている。時にそれがぶつかることもあるが、そうすることで成長できることもある。そういった考え方の多様性がこの本の一番の魅力だと私は思う。



『5分後に思わず涙。 青い星の小さな出来事』  
桃戸 ハル／編著 田中 寛崇／絵 学研プラス



●この本は、涙が出るような話がたくさんつまっている作品です。家族や恋人などの話があります。どんどん読みすすめていって最後のページになると、家族のあたたかさや悲しさ、喜びなどの感情があふれてきます。一つ一つの物語も短いのであきずに楽しむことができます。ぜひ読んでみてください。

『わたしの苦手なあの子』  
朝比奈 蓉子／作 酒井 以／絵 ポプラ社



●ミヒロの小学校に転校してきた本間リサ。リサは無愛想で友達ができない。そしてリサは心臓が悪いからといってプールに入らない。ある日ミヒロが放課後プールに行くとそこにはリサが立っていた。プールを通してリサとミヒロの友情が深まる物語。リサとミヒロはどのようにして友情が深まるのか、ぜひ読んでみてください。

『最後の医者は桜を見上げて君を想う』  
二宮 敦人／著 TO ブックス



●あなたの余命は、半年です。医者である桐子は患者にそう告げる。死神と呼ばれる彼は、「死」を前提とし、患者に残りの命を大切にと言う。だが、昔の同僚である副院長・福原は、奇跡を信じ「生」を一度もあきらめない。命の重さ、最後の最後に一粒だけ残されていた小さな希望は生きることの大切さを教えてくれます！！

©2016Atsuto Ninomiya

『怪物はささやく』  
パトリック・ネス／著 シヴォーン・ダウド／原案  
池田 真紀子／訳 あすなろ書房



●病気の母を持つ寂しい少年コナーの前にある日突然、イチイの木の姿をした怪物が現れる。怪物が3つの物語を語り終えたら、今度はコナーが4つ目の物語を怪物に話すためにコナーが怪物を呼んだのだという。コナーはなぜ怪物を呼んだのか。怪物が語る3つの物語は意味深く毎度驚かされる。ぜひ読んでみてほしい。

『スマイル・ムーンの夜に』  
宮下 恵菜／著 鈴木 し乃／絵 ポプラ社



●この本は、中学三年生の一年間を4人の視点で描いたYA(ヤングアダルト)小説です。休み時間のたび、スマホ片手にトイレにこもる麻帆。全身校則違反で周囲からういている沙羅。何に対しても心から興味をもてない翔太。母の望むいい子を演じているのぞみ。4人の関係もみどころです！！

『精霊の守り人』(シリーズ)  
上橋 菜穂子／作 二木 真希子／絵 偕成社



●この本は、「守り人」シリーズの第一巻です。ほかにも『夢の守り人』や、『神の守り人』などがあります。ある日、女用心棒のバルサは皇子チャグムを救います。しかし、チャグムは精霊の卵を宿し、帝に命を狙われていました。妃に頼まれ、バルサはチャグムとともに追手から逃げることになります。

『くちぶえ番長』  
重松 清／著 新潮社



●私がオススメする本は、重松清さんの『くちぶえ番長』です。ツヨシのクラスに一輪車が得意で口笛の上手な女の子マコトがやってきた。転校早々「私、この学校の番長になる！」と宣言したマコトにみんなはびっくり。幼い頃に父を亡くしたマコトは誰よりも強く優しく友達思いだった。そんなマコトとツヨシの一年間の物語です。

『響け！ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部のヒミツの話』(シリーズ)  
武田 綾乃／著 宝島社



●私が紹介する本は『響け！ユーフォニアム』という本です。主に吹奏楽部のお話です。文字が大きく読みやすく内容がとってもおもしろいです。吹奏楽の話以外には、恋の話や文化祭の話なども入っています。どんな人でもこの本を読むと青春を感じられる1冊だと思います。吹奏楽に興味ある人もない人にもオススメな本だと思います。